

平成 21 年 3 月 31 日現在

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2006～2009

課題番号：18520510

研究課題名（和文）

明治期の談話筆記・回想録の総合的研究

研究課題名（英文）

A Comprehensive Study of Transcripts of Discourse and Reminiscences  
during the Meiji Era

研究代表者

松尾 正人（MATSUO MASAHIITO）

中央大学・文学部・教授

研究者番号：00157265

研究分野：日本近代史（人文科学）

科研費の分科・細目：史学・日本史

キーワード：近・現代史、史料学、政治史、政治思想史、文化交流史、談話筆記、  
回想録、アーカイブズ

## 1. 研究計画の概要

明治・大正期に作成された談話筆記や回想録を調査・収集し、内容はもとより地域や時代、あるいは人物や出身などの分析を重ね、総合的に考察する。談話筆記の対象となった人物の身分や経歴、社会的背景などの再検討を進め、それらをネットワーク化することで、談話筆記類に登場した人物の明治維新観やその裏面の解明が可能になる。明治22年に設立された史談会が出版した「史談会速記録」、温知会や維新史料編纂会などの各種の談話筆記や回想録の収集・検討を行い、さらに談話の聴取や編集・出版の中心となった人物・団体の活動と成果を考察し、その後の伝記編纂事業や明治維新観の形成に与えた影響を研究する。

## 2. 研究の進捗状況

「史談会速記録」などを整理し、項目を立てた分類を行い、一覧を作成した。長州藩関係者の談話筆記と戊辰戦争の敗者となった東北諸藩側談話筆記の二項目を設定し、体系化を試みている。長州藩関係者については、「史談会速記録」以外の談話筆記として、『防長史談会雑誌』に収録された回想録や講演速記録、あるいは長州藩関係者の事蹟などに組み入れられた直話を収集・整理している。具体的には、山口県文書館や山口県立図書館に出張して、毛利家文庫などに収録されている諸記録、毛利敬親や毛利元徳の伝記編纂事業の過程で作成された談話筆記などを調査し、写真撮影による史料収集を行った。「忠愛公

伝」「忠愛公贈位申請一件」「毛利元徳事蹟概要」などの写真撮影である。東北地方関係では、青森県史編纂室や弘前市立図書館などに出張し、弘前藩関係者の談話筆記や回想録の収集に取り組み、同藩の権大参事であった杉山龍江の調査を進めている。青森県史編纂室が収集した「杉山丕家文書」などを調査し、複写・写真撮影による関係史料の収集を行った。また、東北地方では明治天皇の東北巡幸が戊辰戦争後の復興に関係したことから、明治9年の巡幸に関係した有力者の談話筆記や回想録の調査にも着手している。さらに「史談会速記録」作成の中心となった史談会幹事の岡谷繁実に関しても、関連史料の調査を行っている。史談会の役員とりわけ談話聴取役になった幹事の役割は大きく、明治維新観形成の一端を明らかにするためにも、岡谷をはじめとする史談会幹事らの具体的な分析が重要になっている。

## 3. 現在までの達成度

③やや遅れている。

(理由)

第1の原因は、調査対象が山口県文書館・同県立図書館、および青森県の県史編纂室・弘前市立図書館など、遠距離に位置していることが原因である。第2は研究代表者の諸事情で1年目に十分な研究時間を確保できなかったことが原因であり、2年目からその遅れを取り戻しつつあるので、本年度はさらに調査・作業の進行を急ぎ、当初の計画に追いつくつもりである。

#### 4. 今後の研究の推進方策

本年度も長州藩関係者の談話筆記・回想録の調査と写真撮影を行って史料収集を進める。また東北地方関係では、青森県史編纂室や弘前市立図書館などに出張し、弘前藩関係者の談話筆記や回想録の調査を進め、杉山龍江・東北巡幸関係史料の収集・分析に取り組む。さらに、甲府や館林などの調査を通じて、岡谷繁実関係史料の収集を進める。調査・収集に並行して、入手した史料の検討を重ね、明治期の談話筆記や回想録の全容を把握・分析し、その成果と課題を考察する。談話筆記や回想録が伝記編纂事業に果たした役割、それらが明治維新観の形成にどのような影響を与えたのか総合的な検討を進める

#### 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 3 件)

①松尾正人、『戊辰戦争』と原口史学、戊辰戦争論の展開 (原口清著作集 3)、379-394 頁  
2008 年 5 月、査読無し

②松尾正人、明治の木戸孝允―「逃げの小五郎」と維新政権―、駒沢大学大学院史学論集、37 号、1-16 頁、2007 年、査読有

③松尾正人、戊辰開城後の会津若松―岩代国巡察使岡谷繁実の記録―、徳川将軍家と会津松平家、98-101 頁、2006 年 査読無し

[学会発表] (計 3 件)

①松尾正人、幕末開国と近代日本、開国 150 周年事業「開国から近代へ」(国立歴史民俗博物館) 2008 年 11 月 1 日

②松尾正人、安政五か国条約と近代日本、日仏関連学会シンポジウム・基調講演 (日仏会館) 2008 年 9 月 26 日

③松尾正人、明治の法学者・政治家奥田義人、とっとり県民の日記念フォーラム (鳥取県民文化会館) 2007 年 9 月 12 日

[図書] (計 2 件)

①松尾正人、岩田書院、戊辰戦争論の展開、2008 年 5 月、379-384 頁

②松尾正人、吉川弘文館、木戸孝允、2007 年 2 月、248 頁